



2023年7月号 (No.327)

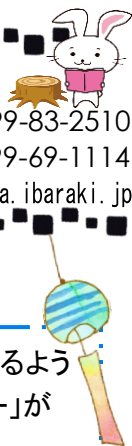
図書館だより

鹿嶋市立

中央図書館 ☎ 0299-83-2510

大野分館 ☎ 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>



～夏休み特集～ はじめました

もうすぐ夏休みです。図書館では毎年恒例の、宿題のヒントになるような本を集めた「夏休み宿題お助けコーナー」と、「課題図書コーナー」がはじまりました。

課題図書の貸出は1人3冊までで、貸出期間は8日間になっております。予約をされる場合は3冊までで、ネットや OPAC では受付できないため、直接カウンターで予約をしてください。

また、中央図書館では「こわい本」の、大野分館では「スポーツ小説」の特集もはじまります。ご覧ください。

開館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
						1 ★
2 ★	3 ⓧ	4	5	6	7	8 ★
9	10 ⓧ	11	12	13	14	15 ★
16	17 ⓧ	18	19 ★	20	21	22 ★
23	24 ⓧ	25	26	27	28	29
30	31 ⓧ					



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ★	3	4 ★	5 ★
6 ★	7 ⓧ	8	9	10	11	12 ★
13	14 ⓧ	15	16	17	18 ★	19 ★
20 ★	21 ⓧ	22	23	24	25	26 ★
27	28 ⓧ	29	30	31		



イベント開催日です。

詳細は中面をご覧ください。



～夏の特別イベント～



こども歴史講座 「よみがえる神郡 香島」

講師：鹿嶋市ときどきセンター職員

8月2日(水)

時間：14 時～15 時(13 時 30 分開場)

場所：中央図書館会議室

定員：40 人程度(事前申し込み不要)

持ち物：筆記用具



へいわ絵本の朗読会 18

協力：演劇集団 Project ^{りぶ}麗舞

8月6日(日)

時間：14 時～(13 時 30 分開場)

場所：中央図書館視聴覚室

定員：先着 40 人程度(事前申し込み不要)



夏休み子ども映画会



中央図書館

8月18日(金)・19日(土)・20日(日)

時間：11 時～ 場所：中央図書館視聴覚室

大野分館

8月26日(土)

時間：14 時～ 場所：大野ふれあいセンター2 階 AV 室

読書感想文講座

読書感想文の宿題で悩んでいる小学生のみなさん！

夏休みに中央図書館に来てみませんか。



「何を書いたらいいの？」「どうやって書き始めればいいのか？」というみなさんのお悩みに、図書館がおこたえします。

当日はワークシートを使って、何をどう書いたらいいのか、内容を整理しながら、感想文を書き始めるところまでを図書館司書がサポートします。

(書き出しまでのアドバイスとなります。仕上げは各ご家庭でお願いします)



8月4日(金)

場所：中央図書館会議室

時間：10:30～12:00 (当日受付 10:20～)

募集人数：鹿嶋市内の小学生 20名程度 (先着順)

※可能であれば低学年は保護者の同伴をお願いします。

申込方法：7月1日(土)10:00以降、中央図書館カウンター
またはお電話で受け付けます。

持ち物：筆記用具、感想文を書くために選んだ本(できるだけ前日までに読んできてください)、下書き用ノートや原稿用紙

7月の定例イベント

中央図書館

*かみしばい

7月1日(土)11:00～

*鹿嶋の民話

7月2日(日)11:00～

*おはなし会

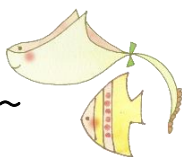
7月8日(土)14:00～

*子ども映画会

7月15日(土)11:00～

*読み聞かせの会

7月19日(水)14:30～



大野分館



*おはなし会「てぶくろ」

7月8日(土)11:00～

*大野シネマ館

7月15日(土)14:00～

*読みきかせの会

7月22日(土)11:00～



8月の定例イベントは、
だより8月号をお待ち
ください。

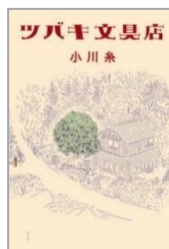
私の おすすめの1冊

今月のおすすめは……



『ツバキ文具店』

小川 糸/著 幻冬舎
(F/913.6/オ)



私は、描写や設定が事細かに書かれた文章は苦手で、途中で読書を断念することが時々あるのですが、この本は読みやすくおすすめです。この物語は鎌倉が舞台ですが、鎌倉の落ち着いた雰囲気に溶け込んだ文具店で繰り広げられる人情味あふれるストーリーです。

主人公の鳩子は小さな文具店を営むかたわらで、手紙の代書を請け負っています。正直、手紙というものは自分の言葉で書くべきもので、自分で書いたらいいのではないかと私自身は思うのですが、身近だからこそ書けない思いがあるものです。友人への絶縁状、借金のお断り、天国からの手紙など、少し風変わりな依頼が次々に舞い込みます。

誰でも、話せば簡単に解決してしまうのに、言えずにそのままにしている内容ってあるんじゃないでしょうか。正直に思いを伝えたいときにはもうその人は居ない、というのはとても悲しいことだと思います。鳩子は、依頼者の思いや状況を聞き取りながらその人に寄り添い、依頼者に合わせた手紙の代書が続けていきます。その代書業を続けていく中で、自分にも思いを伝えるべき人が居ることに気づかされます。

主人公、鳩子の周りには個性豊かな人が沢山登場します。お隣に住む”バーバラ夫人”や少し偏屈な”男爵”など、気さくな登場人物が、鎌倉という場所で繰り広げる人情ばなしも面白いです。

この本は、続編『キラキラ共和国』があります。興味があればこちらも読んでみてはいかがでしょうか。

(2023.07 偏屈な男爵)

水濡れにご注意を…



熱中症対策として水分補給は大切ですが、図書館の資料に水濡れはNGです。湿気のある状態に置かれたり水に濡れてしまうと、ゆがんでしまったりページがはがれなくなったり、シミやカビの発生する原因となります。読書するときやバッグにしまう際、ペットボトルの結露や蓋がゆるんでこぼれた中身で濡らさないように資料の管理には十分にお気を付けください。

※利用ができない状態の場合は、弁償が生じることもあります。



次回の図書館だよりの発行は令和5年8月1日(火)です。